

# NCGGセミナー

**演題名** 免疫代謝学から捉える慢性炎症：  
生活習慣病と老化の共通基盤

**演者：菅波 孝祥 先生**

名古屋大学 環境医学研究所 分子代謝医学分野・教授

令和7年

■ 12月25日(木)  13:30開始  第1研究棟  
2階大会議室

## セミナー概要

肥満や糖尿病などの生活習慣病は、従来、代謝疾患と捉えられてきたが、近年は慢性炎症性疾患の一面を有することが明らかになってきた。これに対して、免疫学の領域では、免疫細胞の細胞内代謝が免疫機能に及ぼす影響が精力的に研究されている。このように栄養・代謝と炎症・免疫には密接な関係が明らかになり、免疫代謝 (Immunometabolism) と呼ばれる研究領域が注目を集めている。一方、Inflammation (炎症) と Aging (老化) を組み合わせた“Inflammaging”という造語が示す通り、加齢性疾患の病態基盤としても慢性炎症が注目されている。我々は特に、代謝ストレスによる細胞死が炎症慢性化を惹起する分子機構に注目し、肥満、代謝機能障害関連脂肪肝炎、慢性腎臓病などに共通の病態機序を見出した。本講演では、細胞死とそのクリアランスに注目して、慢性炎症における意義に関する我々の研究成果を中心に議論したい。

## ご経歴

平成 6年 京都大学医学部医学科卒業

平成14年 京都大学大学院医学研究科医学博士取得

平成27年 名古屋大学環境医学研究所 分子代謝医学分野・教授

名古屋大学大学院医学系研究科 免疫代謝学・教授

令和 6年 名古屋大学環境医学研究所・副所長

現在に至る



GSRC秘書室 内線 7182 or 7371